

「サプライチェーン排出量関連支援」 応募申請書（2次募集） <記入例>

サプライチェーン排出量の算定支援について、募集要綱の応募条件に同意の上、下記のとおり応募します。

【希望する支援内容】（希望するものに○を付けてください。）		
算定関連支援 （算定支援、算定内容・結果のレビュー、 経年評価支援）	○	→応募申請書（1）～（7）、（10）をご記入ください。
第三者検証受検支援	○	→応募申請書（1）～（6）、（8）、（10）をご記入ください。 ※本支援をご希望される場合は、本申請書の記載内容をみずほ情報総研株式会社と一般財団法人日本品質保証機構との間で共有することにご同意いただいた上で、ご申請ください。
削減貢献の考え方支援	○	→応募申請書（1）～（6）、（9）、（10）をご記入ください。

(1) 申請者		印
所属企業		
部署名、役職、氏名		

社印、契約印などの公的な印鑑をご使用ください。

(2) 連絡担当者		
部署名等		連絡担当者は2名までご記入いた だいで構いません。
役職等		
ふりがな		
氏名	○○ ●● 、 ▽▽ ▼▼	
e-mail アドレス	*****@**、*****@**	
電話番号	**-****-****、**-****-****	
FAX 番号	**-****-****、**-****-****	
所在地	〒	

(3) サプライチェーン排出量算定に対する考え	
算定を行う目的	<p>【サプライチェーン排出量の算定を行う目的をご記入ください。】</p> <p><例></p> <p>近年、GDP や日経「環境経営度」調査、GRI-G4 (Global Reporting Initiative 第4版) など、サプライチェーンでの排出量に関する外部からの質問が増加してきている。それらの質問に回答するために算定を実施したい。</p>
(現時点で想定している) 算定結果の活用等の方法	<p>【算定結果の活用・情報公開の方法について、現時点での想定で構いませんので、ご記入ください。】</p> <p><例></p> <p>GDP や日経環境経営度調査などの外部からの企業評価に対する回答や、ホームページ等で算定結果を公開して自社の環境活動をPRすることに使用したい。</p>
(期待する)算定のメリット	<p>【期待する算定のメリットについて、ご記入ください。】</p> <p><例></p> <p>削減ポテンシャルの明確化が期待される。</p>
算定体制	<p>【想定しているデータ収集先と算定実務者をご記入ください。】</p> <p><例></p> <p>社内の関連部署よりデータを収集し、環境部が算定。</p> <p>具体的には、調達部より原材料関連データ、経理部より設備投資額・出張旅費総額・通勤費総額、物流部より物流データを収集。</p>
サプライチェーン排出量の削減取組	<p>【サプライチェーン排出量の削減取組（今後の予定を含む）をご記入ください。定性的な取組でも構いません。】</p> <p><例></p> <p>CO2 排出量を調達基準に含めており、サプライヤーでの排出量削減を促している。また、製品の省エネを進め、CO2 排出量削減の取組を実施している。</p>
サプライチェーン排出量算定の課題	<p>【既に一部のサプライチェーン排出量の算定を実施しており、何らかの課題意識がある場合は、ご記入ください。】</p> <p><例></p> <p>各種の削減活動をサプライチェーン排出量の中で評価するのは難しい。</p>

(4) グリーン・バリューチェーンプラットフォームに開示可能な内容		
開示可能な内容 (該当する方に○)	定性的内容のみ開示可能	定性的内容に加え、サプライチェーン排出量算定結果の15カテゴリーの割合も開示可能
その他(任意)	<p>【アピールしたい内容があればご記入ください。】</p> <p><例></p> <p>算定結果の透明性・信頼性確保のために2013年度実績から検証を受検している。また、当社の●●製品群の削減貢献量の合計は、サプライチェーン排出量の3倍に相当する。</p>	

(5) 算定対象とする組織範囲		
算定対象とする組織範囲 (グループ会社を含むか)	【算定対象にグループ会社を含むかお選びください。】	
	グループ会社を含む	グループ会社を含まない
(グループ会社を含む場合) 算定対象とする組織範囲の考え方	【算定対象とする組織範囲の考え方をお選びください。】	
	財務諸表の連結対象	環境マネジメントの対象
	その他 (下記に概要をご記入ください。)	
【“その他”の場合、組織範囲の考え方をご記入ください。】		

(6) 各カテゴリの算定状況		
カテゴリ	現在の算定状況	
1 購入した物品・サービス	購入重量ベースで原材料を90%以上算定済み	
2 資本財	未算定	
3 Scope1,2以外のエネルギー関連活動	未算定	
4 上流の輸送・流通	荷主責任の範囲のみ算定済み。調達輸送は未算定。	
5 廃棄物	算定済み	
6 出張	未算定	
7 通勤	未算定	
8 上流のリース資産	該当なし	
9 下流の輸送・流通	未算定	
10 販売した製品の加工	該当なし	
11 販売した製品の使用	該当なし	
12 販売した製品の廃棄	算定済み。ただし、活動量の収集方法に不安がある。	
13 下流のリース資産	該当なし	
14 フランチャイズ	該当なし	
15 投資	未算定	
その他	未算定	

(7) 各種支援を希望するカテゴリ		
カテゴリ	支援を希望するカテゴリ (○を記入)	希望する支援内容 (お困りの内容でも構いません。)
1 購入した物品・サービス	○	既に算定済みであるが、算定手法の内容に不安があり、客観的なレビューをお願いしたい。

2	資本財	○	どのような活動量を収集すればよいか分からない。
3	Scope1,2 以外の エネルギー関連活動	○	具体的な排出係数が分からない。
4	上流の輸送・流通	○	調達輸送に関する排出は、調査対象となるサプライヤーが多く、把握できない。何らかのリーズナブルな算定方法をあれば教えてほしい。
5	廃棄物		
6	出張	○	どのような活動量を収集すればよいか分からない。
7	通勤	○	どのような活動量を収集すればよいか分からない。
8	上流のリース資産		
9	下流の輸送・流通	○	本カテゴリに該当する活動の有無が分からない。
10	販売した製品の加工		
11	販売した製品の使用		
12	販売した製品の廃棄	○	既に算定済みであるが、算定手法の内容に不安があり、客観的なレビューをお願いしたい。
13	下流のリース資産		
14	フランチャイズ		
15	投資	○	具体的な算定方法の見当がつかない。
その他		○	当社のどのような活動が該当するのか分からない。
(ある場合のみ)全体を通じて		○	

(8) 検証受検支援		
Scope1,2 の検証受検実績の有無(該当する方に○)	○ 有	無
算定範囲における海外サイトの有無(該当する方に○)	○ 有	無
検証受検支援において、特に知りたいことをご記入ください(任意)。	検証の際に準備すべき資料を教えてください。特に活動量に関して、どのような資料であればエビデンスとして認められるかを教えてください。 また、算定の際にどのような点に気を付ければよいのか教えてください。	

(9) 削減貢献に関する希望支援内容	
削減に貢献する製品	【削減に貢献する製品をご記入ください。今回の募集は1事業者あたり1製品に限定させていただきます。】 <例①>LED電球の部品(LEDチップ) <例②>遠隔会議システムの支援用ソフトウェア
評価対象製品(任意)	【現時点で想定している評価対象製品をご記入】 <例①>LED電球 <例②>遠隔会議システム

評価対象製品と比較製品は、不明の場合、ご記入不要です。これらの考え方も含め、支援致します。

比較製品(任意)	<p>【現時点で想定している比較製品をご記入ください。】</p> <p><例①>白熱電球</p> <p><例②>航空機出張による対面会議</p>
削減貢献の内容	<p>【従来品と比較してどのような点で削減に貢献しているのかご記入ください。特に中間製品の場合、最終製品の削減にどのように寄与しているかを含めてご記入ください。】</p> <p><例①>LED 電球 1 個あたりの製造時の負荷は白熱電球よりも高いが、LED 電球は省電力、長寿命（25,000 時間）であることから、同じ 25,000 時間の点灯時間で比較した場合、製造、使用、廃棄のいずれの段階でも削減を達成している。LED チップは LED 電球の要素技術として、その削減に貢献している。</p> <p><例②>従来は航空機で出張して実施していた会議を、遠隔会議システムの導入により、移動が不要となり、その分の航空機出張による排出量を削減することができる。遠隔会議システムの支援用ソフトウェアは、遠隔会議システムの構成材料として、その削減に貢献している。</p>

(10) ご意見・ご要望等(任意)

以上